

5 飼養衛生管理基準の遵守推進のための協働体制の構築及びその取組

中央家畜保健衛生所
浦川 了

近年、国内においては、豚熱や高病原性鳥インフルエンザが相次いで確認されており、特に豚熱については、予防ワクチン接種農場においても発生が確認されており、発生予防対策として飼養衛生管理基準（基準）の遵守がより重要視されている。当所においても、基準の遵守率向上を最重要課題として指導に取り組んでいるが、一過性の改善は図られても恒常的な改善とはならないこともあり、取組みには困難を極めている。これらの背景を踏まえ、今回、改善につながらない課題を整理し、効果的かつ効率的に遵守指導を行う体制を作り、新たな指導体制のもと遵守向上に向けた取組みをはじめた。

1 基準遵守における課題

(1) 農家の課題

畜種間で飼養者の衛生意識に差があり、特に肉用牛については、高齢・小規模農家は衛生意識が低い傾向にある。また、基準が改正されたことにより、新たに飼養衛生管理マニュアルの作成など対応困難な項目が追加され、遵守の取組のハードルが高くなった。さらに、入場者や消毒の記録、入場者の手指消毒、専用衣服の設置、車両消毒といった、入場者が実施すべき項目の遵守が一過性にとどまることがあり、これらを入場者が恒常的に遵守することが困難であった。

(2) 畜産関係者の課題

衛生意識に個人差があり、対応が徹底されていないケースがあった。また、衛生対策が徹底されないまま増頭、増羽対策といった生産振興対策が進められるケースも見受けられた。

(3) 家畜保健衛生所（家保）の課題

基準改定の度に基準の遵守に対する取り組みのハードルが高くなったが、家保のマンパワー不足もあり、きめ細やかな指導が行き届かない肉用牛農家は数が多く、毎年全戸の立入指導を実施することも困難であった。

2 課題解決のための取組

(1) 長崎県飼養衛生管理指導等計画の策定

令和3年4月に、長崎県飼養衛生管理指導等計画を策定し、飼養衛生管理に係る指導等の実施体制に関する事項の中で、市町、関係団体等との協働体制といった新たな遵守指導体制の構築についての内容を盛り込んだ。

(2) 長崎・県央地域飼養衛生管理指導強化推進協議会の発足

県計画に基づき、各地域で飼養衛生管理指導強化推進協議会（協議会）を発足した。

農家の衛生意識の啓発、畜産関係者の衛生意識の高位平準化、協働体制下での遵守指導等についての取組について、各構成員の役割を明確化した（表-1）。

表-1 構成員の役割

	家保	局地域 普及課等	市町	家畜診療 獣医師	JA等 団体	飼料会社
通常業務での基準遵守	○	○	○	○	○	○
現地確認・指導	○	○		○	○	△
農家への啓発情報発信	○					
法に基づく指導等	○					
状況の分析	○					
情報共有	○	○	○	○	○	○
現地確保支援 (助言・指導等)	○		○			
事業計画検討	○	○	○	○	○	○
研修会の開催	○					

△：通常業務で生産指導を担当している場合

3 協議会の取組

構成員が基準の内容を理解し、衛生意識の高水準化を図ることを目的として、飼養衛生管理基準の勉強会を開催した。次に、遵守状況について情報を共有したうえで、農場立入の際の改善指導を実施するため、農家毎の各項目の遵守率を共有した。さらに、構成員が農場に出入りする際に自ら実施する項目を7項目定め、農場対策と入場者が自ら対策を実施することで遵守率の向上を図ることを目的として、実践7項目について取組んだ(図-1)。



図-1 「実践7項目」の実施による遵守率の向上

4 効果

協働体制を発足することで、畜産関係者の衛生意識が向上し、家保と畜産関係者が同じベクトルで衛生対策に取り組む基盤を構築することができ、農家巡回において畜産関係者が自ら準備した専用衣服を着用するようになった。また、JAは独自で飼養衛生管理基準の勉強会を開催した。本研修会には繁殖牛部会員も参加しており、これまで衛生意識が比較的低かった肉用牛農家の衛生意識の向上も期待された。さらに、1市において、飼養衛生管理遵守率向上のための農家支援対策として衛生資材の購入経費への補助が新規メニューとして設けられた。また、昨年度から基準の遵守が実施要件となった畜産クラスター事業では、事業実施農場における不遵守内容について、構成員が一体となって改善指導することで改善が図られた。

5 まとめ及び今後の協議会の活動

令和3年度に協議会を発足し、勉強会の実施

や情報共有等により畜産関係者の衛生意識が向上し、協働体制の基盤が構築することができた。今後は高まった衛生意識をもって農家の遵守率向上に向けて取り組んでいきたい。また、全ての畜種を対照として畜産関係者が自ら実践7項目の継続実施することで、農場の基準の遵守率向上を図っていきたい。